

# 「大国主命のラブロマンス」



出雲大社に奉納された日本画の大作「神在月・高志から出雲へ」

# 大作日本画 大社へ奉納

神話をテーマにした作品を手がける日本画家の川崎日香麗さん(37)が新潟県上越市で8日、出雲大社町軒染集の出雲大社を訪れ、大国主命が求婚したとされる奴奈川姫の御霊が神在月の出雲へ向かう様子を描いた大作を奉納した。奴奈川姫伝説が残る新潟県糸魚川市などが、神話が息づく出雲とのつながりを深めようと川崎さんの活動を支援し実現。それだけに、川崎さんは「多くの人の支えとご縁で念願が叶い感謝」と感慨ひとしおの様子だった。

(関係者提供)

奴奈川姫 新潟の川崎さん  
ゆかり

## 「出雲と縁深まれば」

川崎さんは約10年前か、納祝賀会で知人の和紙工芸家ら、古事記や風土記などの作家、野崎ふしみさん(72)神話の世界に魅了され奴奈川姫などを題材にした作品を制作。2011年には松江市で個展を開くなど、縁根ともゆかりがある。

出雲大社への奉納は、今年6月に大国主命の御子神・建御各方神を祭る長野県諏訪市の諏訪大社に作品を奉納したのがきっかけ。奉納したのがきっかけ。奉納したのは、ヒスイな



千家和比古権吉司から感謝状を受け取る川崎日香麗さん(左)

奉納報告会があり、川崎さんや郷土史家で同会の土田孝雄副会長(79)ら5人が出席。川崎さんが千家和比古権吉司から感謝状を受け取った後、全員で本殿に赴き参拝した。

23日には松江市内で奉納記念祝賀会が開かれ、出雲、糸魚川、上越、諏訪の4市の関係者らが出席予定で、川崎さんは「奉納を機に出雲との縁が深まればうれしい」と話した。

松江市千鳥町のホテル一知(川内孝治社長)では高層ホテル火災を想定した消防訓練があり、従業員30人と市消防本部30人が避難誘導や消火の手順を確認した。

7階客室から深夜に火が出たと想定し実施。玄関前の駐車場には、北消防署の消防団は、消防車両9台で市消防本部と連携して、市民に防火を呼びかけた。

パレードに先立ち、同市本町里方の同本部で出発式があり、職員や消防団員ら42人を前に妹尾康寿団長(66)と系原文昭消防次長

なごらるてかになかを伴はるを巡回した。

福島の島町でも、福岐広域連合消防本部が防火宣伝パレードを行った。出発式では地元の保育園児44人が防火を願い、元気に踊りを披露した。

出発式は同町平の同消防本部であり、同本部の野野鉄也消防長や、一日消防署

## 健康長寿は「歯」から

虫歯や  
口内環境 専門家2氏解説

「いい歯の日」(11月8日)にちなみ、歯について理解を深める講演会「歯の健康長寿」(奥歯 二名養教授65)が登場し、

「虫歯の仕組みや口内環境の重要性を説いた。会では山陰中央新報社の健康増進部が「医療の正しい知識、意識を持つ機会にしてほしい」とあいさつ。第一部で渡辺会長は歯と歯茎の隙間の「歯周ポケット」

## 地域農

「口内に炎症が心臓の炎症につながることは全身の健康を損なう。その対策として自然素材を使い生活習慣を改善する必要がある」と話した。

出雲高校(出雲の1年生が9日、同市内の企業、方創生に連携して、ドワークを行い、声を聞いたり、したりして地域への理解を深める。文部科学省指定ハークローバル(SOH)事業1年生を対象に、ベリックセミナー。地方創生の文化、環境など、計1分野に分けてわたり、農林水産省の指導を受ける。

大国史英さん(左)がミニトマトを収穫高校の生徒